

広報委員会 会議記録

1 日 時 令和3年2月22日(月)午後3時04分開会

2 場 所 第二委員会室

3 出席委員	委員長	鈴木	木智	明
	副委員長	鴈野		聡
	委員	中野	香	澄
	委員	中村	典	子
	委員	戸張	友	子
	委員	D E	L	I
	委員	篠田	哲	弥
	委員	塚口	健	児
	委員	山鈴	正	子
	委員	織木	大	介
	委員	洪原	正	幸
	委員	市川	剛	士
	委員		恵	一

4 出席事務局職員	庶務課長	根本	真	光
	議事調査課長	鈴木	章	雄
	議事調査課長補佐	鈴木	加	代
	議事調査課長補佐	鈴木	美	紀
	議事調査課主査	鈴木	直	樹
	議事調査課主査	飯田	陽	子
	議事調査課主任主事	柴田	智	明

5 議 題

- (1) 議会だより第245号掲載予定記事について
- (2) 編集の窓について
- (3) 第2回広報委員会の日程について
- (4) 議員の賛否態度の公開方法について
- (5) その他

6 会議の経過及び概要

委員長開議宣告

議 事

傍 聴 議 員 岡本優子議員、山中啓之議員

傍 聴 者 6人

(1) 議会だより第245号掲載予定記事について

鈴木智明委員長

まず、議題(1) 議会だより第245号掲載予定記事について議題とします。
事務局より御説明をお願いします。

議事調査課長

第245号掲載記事の案をお示いたします。

まず、1面でございますが、写真、3月定例会のあらまし、トピックス、傍聴案内、声の議会だより、市ホームページ紹介でございます。2面に移りまして、審議結果、人事案件、意見書でございます。3面でございます。予算審査特別委員会の審査から。4面です。予算討論。5面でございます。委員会の審査から、一般質問。一般質問については、6面、7面と続きます。そして、8面でございますが、松戸市議会表彰、6月定例会のお知らせ、編集の窓、マチイロ、次回発行予定となっております。

鈴木智明委員長

ただいまの説明のとおりでよろしいでしょうか。

DELI 委員

8面のマチイロはアプリだと思いますけれど、前回のとき、マチイロを紹介するだけではなく直接飛べるようなQRコードとかに変えたらどうかとお話をしたのですが、変わっていなかったと思います。要は市ホームページなどでは、実際このアプリ自体を紹介しているわけですから、直接飛べるようにしたほうがよいと思うのですが、そこは何か変わるのでしょうか。

議事調査課長

ただいまのマチイロの件でございますが、調べたところによりますと、アプリのダウンロードのページにしか飛ばすことができないとのことなので、それが有用なのかどうかと思うのですが。

DELI 委員

いや、松戸市の市ホームページでは、アプリ自体を紹介されているのです。アプリ自体を紹介するのが、議会だよりだと少しそぐわないという意味なのですか、今のは。でも、情報は載せるのですよね。

議事調査課長補佐

アプリですけれども、iPhoneとAndroidと、それぞれのQRコードを載せることと、注意事項を載せなくてはいけないということで、結構な紙面の量を必要とするので、毎掲載せるに当たっては、紙面量の調整等も必要になることから、以前広報委員会の中で、マチイロは毎掲載せるけれども、QRコード等は載せないでいまいしょうと決まった経緯があります。

中西香澄委員

今のDELI委員の御提案に私も賛成で、あのスペース、今のままで、どう素人目に見ても二つQRコードを載せられると思うので、委員の皆様もせっかく新しくなりましたし、委員長も新しいので、よろしければ、本当に小さなところですが、ここで載せるかどうか、一度決め直してはいかがでしょうか。

鈴木智明委員長

わかりました。この件について、マチイロの画面のホームに入るときに、少し難しいと言われる方も、中にはいらっしゃるみたいなので、そのあたりどう載せるかという課題もあると思うので、もう一回検討させていただいて、改めて御報告させていただきたいと思います。

ほかに何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

なければ、さよう決定いたします。

(2) 編集の窓について

鈴木智明委員長

次に、議題の(2) 編集の窓について、事務局より説明願います。

議事調査課長

編集の窓につきましては、委員長、副委員長の後、議席番号順に委員にお願いしております。今回、委員の変更がありましたことから、鈴木智明委員長にお願いしたいと考えております。

鈴木智明委員長

編集の窓につきましては、私がやらせていただくことでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

それでは、さよう決定いたします。

(3) 第2回広報委員会の日程について

鈴木智明委員長

次に、議題の(3)第2回広報委員会の日程について議題といたします。

日程につきましては、4月16日金曜日午前10時から開催したいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

大塚健児委員

監査が入っています。

鈴木智明委員長

わかりました。そういたしましたら、予備日として、4月19日月曜日の10時という形で大丈夫でしょうか、皆様。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

御異議がないようですので、4月19日月曜日午前10時で決定いたします。よろしくお願いいたします。

(4) 議員の賛否態度の公開方法について

鈴木智明委員長

続きまして、議題（４）議員の賛否態度の公開方法についてですが、先の広報委員会にて提示いたしました案をもとに公明党、市民力・立憲民主党、日本共産党の会派より御意見をいただいております。

そして、この資料なのですが、皆様、お手元にありますでしょうか。

また、この資料１、２の書式については、この３会派から出た御意見をもとに意見を反映し、修正したものをお配りしております。

また、資料２の市ホームページへの具体的な掲載方法についても御意見をいただきました。前回、正副委員長案では、議案ごとにとしかお伝えしておりませんでしたので、今回、御意見を参考に検討させていただいて、会派名や議員名から資料２を見ることができるようにいたしました。その資料が資料３－１、資料３－２という形になっております。

このＡ４のもの、資料３－１と左上に書いてあるのですが、あと資料３－２という、Ａ４の冊子になっています。

そしてもう一つ、資料３－１の表内の議員個人の賛否、市長提出議案に対する議員個人の賛否をクリックすると、資料３－２へ、また、賛否態度決定に至った理由・討論のそれぞれ会派名、議員名をクリックすると、資料２を見ることができるようにしてあります。これらにつきましては、導入される電子式採決システムとの関連もございますので、現時点において広報委員会で集約された意見としたいと考えておりますが、皆様、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

それでは、こちらについてもさよう決定いたします。（「１点」と呼ぶ者あり）中西香澄委員お願いします。

中西香澄委員

今の、鈴木智明委員長の「さよう決定いたします」が、１から３の資料のやり方で決定ということですね。

鈴木智明委員長

これから採決システムが今回決まっていくのですが、今の段階でできるところはここまでかと思っているので、この段階までで、皆様、よろしいでしょうかということで、御意見いただいております。

中西香澄委員

わかりました。では、事前の意見の提出の中でも、書式も含めて提案させていただいたのですが、この前の話し合いのときも、細かくは次回とのことだったので、入り違ったまま、はっきり整理整頓されないまま発言を終わらせたのです。この形式で、見た目は同じでよいのですが、改めて討論のみを理由として載せる方法を提案させていただきます。そ

れについて、最終的には、必要であれば採決をとっていただければと思うのですが、理由を述べさせていただきます。

まずは、この理由を述べる必要があるということが、賛否態度と必ずセットであるという御意見が議会活性化検討協議会の中でも何度もありましたし、答申の中にも含まれています。理由を伝える手段は、現在の議会運営の方法の中で確実に確保されています。それは討論です。討論の内容は、相手を変えるためのものという目的なので、それだけでは不十分だと御意見がありましたが、一定の裁量が認められていますので、理由を披露することができるはずです。

また、逆に討論を全員するわけにはいかないと述べた方もいらっしゃいますが、逆にその理由をお聞きしたいです。答申の内容に縛られる必要はないと個人的には思いますが、多くの賛否の理由を伝えたい議員や、答申を十分に受け止めるべきとお考えの方もいらっしゃると思います。だとすれば、討論を行うことが、何よりもその答申を受けた上での議員の行動ではないかと、私は受け止めております。この広報委員会の中でのこのような議論を深めることが、議会制民主主義をより高める方法を生むことができると思うのです。

2点目は、この議会の出来事を公的に示すのが市ホームページや議会報の役割ですので、お考えは違うのかもしれないのですが、実際は起きていない内容を書けることに、やはり責任の所在が問題だと思います。会派と議員個人の責任で載せるという議論が起きていましたが、最終的に、そこに載ると、議会全体の責任が伴ってしまうと思います。動画は公式なものではないけれども、現在載っているという御発言も過去にありましたが、配信動画は議場で実際に起きていることです。

また、同時に録音されている音声は、議事録のもととなるものですので、存在していないものとは明らかに違います。他市の事例ですけれども、討論以外を掲載している自治体は、この広報委員会の中でも何度も挙がっている島根県浜田市以外には、私は見つけることができませんでした。特に類似団体や人口が近い団体は、議会事務局の協力も得て調べましたが、載せているところはありません。そして、何よりも議会軽視、討論の軽視になることです。討論を控える傾向が生まれてしまうと思うのです。言論の府の崩壊です。市ホームページに載せることができるならば、市民に後で見ていただくならば、討論よりもそのほうがよいのではないかなど、自分の発言として残るよりも責任が曖昧になるのも考えられます。

また、もう一点、議場で行われる討論よりもすぐれたものをつくれる可能性があると思いませんか。討論で聞いた内容を受けて、反駁した内容を作成することが可能になってしまうのです。もしこれで最終的に討論でないものを載せるとなった場合、私たち議員が討論するほう、しないほう、どちらの立場に立ったとしても、討論より以前に理由を記載するものは提出する期限をつくらないと、自分たちで議会の価値を下げてしまうのではないかと非常に危惧しています。これは、自分の提案がだめだったときに提案させていただきたいことです。

議会事務局の負担が増さないようにという発言も多くの方からされているのですが、改めて原稿を集めたり精査したりするほうが、負担は多いと思います。そのまま討論されたものを載せると、自動的にになるので、実際の作業は減ると思います。

また、載せたり載せなかったりを見た上で市民の方が討論や会議録を見ますと、余計に混乱すると思います。市民の方に誤解を与えないために賛否公開をして理由を載せたいという御意見の方が多くいらっしゃったので、混乱しないように、疑義を深めないように、

すっきりとした形にしてほしいと思っております、以上の理由で提案させていただきます。

織原正幸委員

前回の広報委員会の際に、議会活性化検討協議会の答申どおりに進めましょうと全会一致で合意していると思うので、それに従った議事進行をお願いしたいと思えます。

山口正子委員

ただ、やはり議員の賛否態度ですので、私も意見表明のときに、これをお手元にお配りさせていただいているとは思いますが、やはり議会の形骸化になるのはよくないので、しっかりと討論したものを載せるべきだと思っております。

DELI 委員

私は、逆に、締め切りは設けたほうがよいと思えますが、それを討論の通告と同じにしてしまうと、例えば、議場で討論を聞いて心変わりしたとか、そういうことが許されなくなってしまうので、そこに締め切りを持っていくと制約されてしまうので、議会最終日ですとか。変な話、半年後とかにこの反対理由を載せられるような状況になるのはどうかと思うので、このフォーマットで締め切りを議会最終日とか、次の日の午前中までにするとか、そういう形で何か折り合いをつけたらどうでしょうか。

織原正幸委員

それは、前回、翌日までとやりました。

DELI 委員

そうです。今言ったような、後からよりよいものがつくられることにはならないのではないかと思います。

中西香澄委員

前回決めたという御発言もあったのですが、前回受けて、細かいことは次回とのことでしたので、あの場で正確な採決もされていませんので、必要ならば、ここでとっていただければよいと思えます。先ほどのDELI 委員からの御指摘で、私、1 個言い忘れたのですが、やはり討論を聞いて変わる可能性がないと、討論の意味がありません。1 回出す、討論の前に締め切りを持ってきて、賛否が変わった場合のみ後日提出可がよいのではと思った次第です。

鈴木智明委員長

今たくさん御意見いただいたのですが、今回、広報委員会として、議員の賛否態度をどう公開していくのかという、スタートラインが、令和元年12月18日に議会活性化検討協議会で答申が出され、それを受けてのこの広報委員会なのです。このお話は、議会活性化検討協議会で、本来話し合うべき内容で、そこで全会一致で、今、広報委員会に来ている状況です。今このことを話すことは、議会活性化検討協議会で話した内容を全て覆すこととなりますので、今回広報委員会としては、全会一致を受けて、どのように賛否公開の

態度を市ホームページなどに示していくのか、議会だよりのあり方や市ホームページの記載方法などを話し合っているのです、今のこの話は、これまでの話を全て、前提を覆してしまうことになるので、ここでは採決をするというよりも、全会一致で決まったことですので、このまま進める形が道理ではないかと思います。

中西香澄委員

ごめんなさい、おっしゃる意味がわかりません。もちろん答申があります。答申を受けます。そのとおりでないといけないうれば、前回それをもう少しわかりやすく言ってほしかったですし、賛成か反対かをとっていただくことは何も問題がないと思うのが一つ。私が提案しているのは、答申を受けて、理由の掲載が必要であるならば、理由の掲載として、載せたい方は討論して、討論したものを載せるという提案を広報委員会がすることは、答申と矛盾していないと思います。その案は違う、その案は賛成というのを聞いていただく分には、何も矛盾しないと思うのですが、違いますか。

鈴木智明委員長

1回、令和元年12月18日の議会活性化検討協議会の答申のところを読みます。

「議員の賛否態度の公開方法については、賛否が分かれた市長提出議案の議員個人の賛否結果一覧を議会だより及び市議会市ホームページに掲載し、賛否態度決定に至った理由は、議員及び会派の責任において市議会市ホームページに掲載できるものとする」ということで、ここでは各会派の、また個人の自由意志が尊重される形で答申が出ているのです。今のお話だと、この答申を覆してしまうことになるので、採決云々ではなく、広報委員会の所管事務の中で進めていく話になると思います。今お話しされていることは、この議会活性化検討協議会の内容を全て覆してしまう話になってしまうので、広報委員会の今後の賛否態度の公開についての話を進めることが、進められなくなってしまうので、このまま進めさせていただきたいと思います。ここで採決をとること自体がおかしな話で、議会活性化検討協議会で、全会一致で決まっている形で広報委員会に来ている、この賛否態度の決定理由の内容なのです。討論だけとかいろいろな御意見あると思いますが、それ自体は本来、議会活性化検討協議会の中で話し合うべきであって、ここで話し合うことは、根底からそれを覆してしまう内容になってしまうので、広報委員会として、そのまま進めさせていただきたいと思っています。

中西香澄委員

鈴木智明委員長のおっしゃる思いは、お言葉としては理解できるのですが、もちろん、このまま進めていくことに協力もしたいです。ただ、日本語の問題として、これを受けて、さらに発展させたものとして、理由の掲載を討論に絞るのか絞らないのかは、可能な議論なはずですが。その上で、意見が違ったとしても、私たちは議会活性化検討協議会と違い全会一致で必ず進めましょうという拘束は受けていませんので、意見が違えば、話し合った後で採決をすることは何も問題がないと思うのですが。承諾しなかった場合、何も進まなくなってしまうと、私が何か協力しない人みたいになってしまうと困るのですけれど。広報委員会としての運営に、この話から飛んでしまって、なってしまうと思うので、意見が異なった場合は、適切に判断していただきたいと思います。このままなあなめに進めるのではなく、採決していただければと思います。

DEL I 委員

私が先ほど提案したと言ったのは、別にフォーマットを答申どおりということは変えないで、例えば締め切りとかを調整することで、一定のことが担保できるのではないかという提案です。

鈴木智明委員長

それは可能です。最終日の翌日とかで決めていくことは、可能です。

DEL I 委員

そう決めることで、より皆様の意見も反映される形に持っていけるのであれば、ここで話したほうが良いという意味です。

鈴木智明委員長

もちろん、それは可能です。

DEL I 委員

そこをお願いします。

市川恵一委員

中西香澄委員もいろいろあると思うのですが、やはり議会活性化検討協議会で、結局、討論だけでもいいし、そうでなくてもいいと決めていますよね、全会一致で。それは、どちらにしてもいろいろと問題があるのです。先ほどおっしゃった問題もあるし、DEL I 委員が言った問題もあるし、いろいろな問題がある。そこではっきりは決められないから、会派の責任において、変なことを書けば会派が責任を問われるという前提にやりましたと、全会一致で決まったわけです。それを今度この広報委員会でどちらかに決めることになったら、それは先ほど鈴木智明委員長が言ったように覆すことになりませんか、と私は思います。

山口正子委員

載せることには異議はないとのことなので、全く覆すことにはならないと思います。載せるに当たって、私は前回のときには字数なども決めたほうがよいと提案したところでしたが、それは省いたとしても、やはり議会を形骸化するようなことになったらいけないということがありますので、会派と個人の責任で載せるのは、それはそれでよいのですが、やはり討論に限るほうがよいのではないかと、繰り返し提案したいと思います。

中西香澄委員

市川恵一委員からのお話とか、DEL I 委員と山口正子委員のお話も聞いた上で、答申を受けて理由の掲載を討論に限るか限らないか、はっきり決めることは、どう日本語で受けてもひっくり返らないと思うのですが、採決できない理由はあるのですか。

鈴木智明委員長

これは私の思いなのですが、今回、この賛否態度の公開は、何年も議会活性化検討協議会で話し合って、全会一致で決まりましたということで、広報委員会は今回こういった所管事務でいただいたのです。その中で、松戸市で初めての賛否公開してほしいという、市民の皆様からたくさん御要望をいただいて、何とかそれを通すに当たって、全会一致で、初めての松戸市での取り組みですし、進めていきたいのが私の思いです。

その中で、今、採決のお話があったのですが、もともと議会活性化検討協議会で、今、中西香澄委員がお話しされたことは、そういった話も含めて、議会活性化検討協議会で、全会一致でここに来ているのです。そのために、答申も、各会派、議員の考えで載せていいということで決まっているのです。今お話しされていることは、それを全て、答申を崩してしまう内容になってしまうので、ここでその賛成、反対とか、採決をとるというお話自体がおかしな話になってしまうのではないかと思います。

鴈野聡副委員長

いろいろ話が錯綜しているのを整理すると、例えば、DELI委員がおっしゃっているのは運用の話であって、どういう形で運用するかということだと思います。中西香澄委員のおっしゃっていることは、掲載する内容の話になるのですけれども、どういう内容を載せるかというのは、議会活性化検討協議会の中で、もう2年にわたって延々と何度も何度も議論を重ねてきたと思いますので、そこは、同じ御提案の中でも少し種類、質が違っていると私は感じております。

中西香澄委員

そうすると、一つは、全会一致の議会活性化検討協議会の存在と、また、この広報委員会の存在がありますので、先ほど、前回のときも篠田哲弥委員に、そのときにいなかったからというのは問題にならないと御指摘もあったのですが、そのときに反対の意見を言えなかったわけです、市民力・立憲民主党としては。だとすれば、非常に議員としての生命にかかわってまして、この賛否公開は、もちろん議会の皆様と協力して行いたいですが、議論を載せる、議論以外を載せるというところには、非常に議会観として重いものを感じておりますので、前回議会活性化検討協議会で意見を表明できなかったのも、できれば、ここで意見を表明させていただきたい。これは、私個人のわがままと捉えられても仕方がないと思うのですが、その強い思いはあります。

そして、どう見ても少数意見だと思いますので、こちらでたくさん話も聞いていただきましたので、話した上で、違うとなって、先に話していただく分には民主的な進め方としては問題ないと思うのですが、だめなのでしょうか。

鈴木智明委員長

ただ、これについては、意見として承るのですが、もう議会活性化検討協議会で決まっている内容ですので、今ここで採決すること自体、必要がありません、その部分。

中西香澄委員

では、反対しています。でも、こう進めますということで進むということですか。

いや、もちろん、鈴木智明委員長が進める権限を持っていらっしゃるので、最終的には従うしかないと思うのですけれども。

鈴木智明委員長

この件につきましては、あくまでも議会活性化検討協議会でもう話し合っている内容ですので、私はここで採決をとるべきでないと思うので、このまま進めさせていただきます。

(5) その他

鈴木智明委員長

続きまして、(5) その他について、皆様、何かございますか。

DELI 委員

今の締め切りの件とかは、どこで最終的にフィックスを、運用のこととか、させるのですか。

鈴木智明委員長

前回の広報委員会のときに、議会の賛否公開については、議会最終日の翌日までに出しますと話があったので。

DELI 委員

そうですね、今の中西香澄委員とか山口正子委員とかの思いを少しでも酌むとすると、例えば議会最終日にしようとか、その話はしてもよいのかと思い、先ほど私は言ったのです。

鈴木智明委員長

運用面ということですね。

DELI 委員

議会軽視とかそういったところが、締め切りを少し変えることで担保される可能性があるのなら、話してもいいのかと思い先ほど言ったのです。

鈴木智明委員長

これにつきまして、事務局から何かありますか。

議事調査課長

今のお話は最終日のうちに提出すると、掲載については処理する関係から、同日にできるとは少し考えにくいのですが、締め切りを単にその日ということは。

DELI 委員

そのほうがより担保できると思ったので、次の日よりは当日を締め切りにしたほうが、より皆様の意見が入った形になると思ったので。

議事調査課長

その辺は、皆様で御決定いただければと思います。

鈴木智明委員長

今、採決システムとかの絡みも少しあり、どのような形で来るかというのが、まだ全部わかっていない状態なので、運用面とか今お話しした部分については、もう1回改めて検討させていただきたいと思っています。

DELI 委員

なるべく皆様の意見が、反映されるようにお願いします。

中西香澄委員

前回、その他で提案と確認させていただいた、以前、委員をされていた岡本優子議員からも提案があった委員会のネット中継や手話通訳について、前回は正副委員長一任でということだったので、これからのスケジュールなど、可能性があること、進捗状況などがあったら、1点お聞きしたいです。

もう一点ですが、議会だよりの244号の編集後記、編集の窓のところ、岡本優子議員が担当されて、修正を提案させていただいて、正副委員長に一任させていただいたのですが、変更を申し入れたのもイレギュラーなことだったので、それは了解しているのですが、結局、すぐ岡本優子議員に、修正はなく、このままでということをお答えいただいたので、それでしたら、この場で、だめならだめと言っていたいただいたほうが、諦めもついたので、その辺の正副委員長に一任した後の、どこでこれが決まったのかを確認したかったので、2点お願いします。

鈴木智明委員長

前回の議会だよりの岡本優子議員の変更点については、少し話し合っ、何とかそういったこともと検討したのですが、既に議会だよりの発行も進んでいるような状況でしたので、間に合わないということで、前回はそのまま進めさせてもらいました。

もう一つあるのが、手話通訳のことです。これについては、今、採決のこととかもあるので、これも含めて、少しお時間いただきたいと思います。

中西香澄委員

ネット中継と手話通訳は、今まだ進んでいないということで、了解しました。

議会だよりの編集の窓のことなのですが、内容がもう無理とわかっていたら、すぐお返事いただきたかったというのが正直なところなので、もちろん修正をお願いしてしまったのはこちらですので、お願いします。

鈴木智明委員長

そのあたりは気をつけて、また、きちんと対応させていただきます。

織原正幸委員

今のネット中継と手話通訳なのですが、事務局、それは私たちの所管ですか、議会運営委員会の所管のような気がするのですが、どうでしょうか。

議事調査課長

広報委員会の業務と言えるかどうかは、なかなか難しいのかと。議会の運営全体にもかかわってくることを思っております。

織原正幸委員

では、鈴木智明委員長、議会運営委員会の杉山由祥委員長とよく相談していただいたほうがよいと思うので。私たちの所管ではないような気がするのです。

鈴木智明委員長

もう一回承って、再度検討させていただきます。

中西香澄委員

前回の議事録を確認していただければと思います。手話通訳の要望の市長メールを上げられたのが広報委員会だと記憶しているので、そこからさかのぼって所管が間違っていたとなるかもしれないので、御確認いただけたら幸いです。どこかで、やはり続けてほしいと思います。

鈴木智明委員長

わかりました。もう一度確認させていただきます。

ほかに、その他で御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

鈴木智明委員長

その他についてなのですが、私から、今、新型コロナウイルスの感染拡大状況に伴って、松戸市議会の広報に関する規程において、感染防止対策というか、感染があったときのことを考えて、今後、検討が必要だと考えております。

特に、松戸市議会の広報に関する規程があり、例えば広報委員会を招集するには委員長が招集しなければならないとか、さまざま規定があるのですが、例えば、私が新型コロナウイルスとかにかかってしまったときに、開催ができなくなってしまうなどの懸念もあるので、この規程を正副委員長で一度検討させていただいて、改定とかを検討したいと思っておりますが、皆様、その点いかがでしょうか。

中西香澄委員

規程の変更で想定されているのは、招集権が委員長のみにあるという1点でよろしいでしょうか。

鈴木智明委員長

あとは、委員会の開催においても、半数以上出なければいけないとか、さまざま規定があるので、そのあたり含めて、一度こういった改定が必要なのかを検討して、再度お話ししたいと思っております。

DELI委員

一般社会の方には7割テレワークとか、いろいろお願いしているわけですから、この広報委員会なども、オンライン化なども想定の一つとして考えて、相談していただきたいと思います。

鈴木智明委員長

そういった点も含めて、いざというときにメールとかでやりとりして、確認がとれるかとかも踏まえながら、進めていきたいと思っております。

中西香澄委員

今のDELI委員のお話はまさにそうで、オンライン化はぜひ、規程を変えるときに、松戸市議会はすごくハードルが高いと感じていますので、オンライン可に変えるべきタイミングだと思います。他の市議会では、皆様同じタブレットを持っていなくても、まずは自前のもので始めている事例もありますので、予算がつかなくてもできるのではないかと。そうする場合は、全力で協力したいと思っておりますので、ぜひ提案とさせていただきます。

鈴木智明委員長

ほかに何か御意見ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長散会宣告

午後3時43分

委員長 署名欄	鈴木 智明
------------	-------